

会 議 録

1 会議名

令和 7 年度 第 3 回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について

（2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・新たな自主的審議事項について
- ・地域協議会委員 4 区合同研修会について

3 開催日時

令和 7 年 6 月 23 日（月） 午後 6 時 30 分から午後 7 時 55 分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

報道 2 名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内会長、陸川副会長、岡田委員、尾崎委員、桐山委員、高橋委員、竹内委員、陸川委員、欠席 4 名
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、金井次長、朝日市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、更山地域振興班主事、近藤総務班長、高橋産業建設業務窓口班長、野坂福祉班長、早川税・市民生活班長、平原教育・文化班長

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内会長】

本日のメインテーマは、新たな自主的審議事項のテーマ設定になる。

また、皆さんには日頃から、地域の課題に向き合い、それぞれの団体に活動いただいている。改めて感謝申し上げる。

会議録の確認を尾崎委員と桐山委員に依頼。

初めに、報告事項の農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について、板倉区総合事務所野崎農政班長に説明を求める。

【野崎班長】

資料 農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」及び参考様式第 5-2 号を基に説明。

【竹内会長】

野崎農政班長より説明のあった、農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について、質問・意見はあるか。（なし）

続いて、協議に移る。(1) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、事務局に資料 No. 1 中郷コミュニティバス「さくら号」の運行状況について説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 1 を基に説明。

【竹内会長】

さくら号は、概ね予定どおり、順調に運行しているということでありがたいことだと思う。

これからも持続していくために、運転手の確保が必要になると考えられる。

今、運行をしている中で問い合わせ等はあるのか。

【桐山班長】

6 月以降、問い合わせ等はない。

【竹内会長】

さくら号について、さとまる学校が行っている高齢者サロンの参加者の中で時々話題には出るが、区内では、全く知らないという方もいる。利用者の口コミをシェアするなど、定期的な案内・周知が必要だと思うので、引き続きお願いしたい。

さくら号の運行状況について、質問・意見はあるか。(なし)

続いて、資料 No. 2 令和 7 年度の「子どもの い～場所開設事業」について事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 2 を基に説明。

6 月 17 日（火）に、まちづくり振興会と総合事務所職員で、小学校の校長と教頭への事業説明を行った。今年の時間割だと、月曜日と木曜日（委員会のある日は除く）が一斉下校となるため、開催日を月曜日または木曜日で設定する予定。今後は、7 月 15 日（火）に小学校の学年懇談会にて保護者へ事業実施の説明を、8 月 28 日（木）に募集チラシの配布を行う。

本日は、昨年事業に参加しなかった保護者への意見の聞き取り方法、中学生の募集方法、開設場所、活動メニュー設定の有無について協議いただきたい。

【竹内会長】

前回同様、皆さんから意見をいただき、い～場所開設事業の運営主体である、まちづくり振興会に地域協議会からの提案書として提出することとしたい。まちづくり振興会の立場で、小学校へ説明に行った委員から補足はないか。

【岡田委員】

小学校から、い～場所開設事業への前向きな意見をいただいた。今年度もよい方向で、い～場所開設事業を進めていくことができると感じた。

【陸川委員】

小学校より、子どもたちの自主性を尊重するやり方はよいと思うという意見をいただいた。また、前任校での事例として、小学生は塾に通っている子が多いという話を聞いた。

今後も、い～場所開設事業を続けていく中で、中郷のかたちを築いていければよいと考えている。

【竹内会長】

い～場所開設事業はまだ模索している状態。今年度実施してみて、また課題が出ると思うが、学校とも情報共有しながら進めていければよい。

次に、開設場所の設定について、昨年度の構想では、中郷コミュニティプラザ、中郷総合体育館、片貝縄文資料館、はーとぴあ中郷の4か所を回る想定としていた。前回の地域協議会では、片貝縄文資料館は使いにくいところがあるため、中郷コミュニティプラザと中郷総合体育館を中心に開設するのはどうかという意見が出た。

また、拠点化について、最終的には拠点を決める必要があると思うが、今年度中の拠点の設定は難しいため、事業を実施しながら検討することとする。

【高橋委員】

開設場所については、4か所で問題ないと思うが、冬場の気温等を考慮して設定したほうがよいと考える。ただ、いろいろな場所を回ると、主催者側の負担が大きくなるのが懸念されるので、今後、拠点化していくことを念頭に置きながら、昨年度ベースで対応していけばよいと思う。

【陸川委員】

冬場は寒くなるので、中郷コミュニティプラザでやった方がよいという思いがある。体育館も道具があったりするので、中郷コミュニティプラザ・中郷総合体育館・片貝縄文資料館の3か所で開設するのがよいのではないかな。

【桐山委員】

中郷コミュニティプラザと中郷総合体育館の2か所くらいでも問題ないと思う。複数の場所での開設となると、迎えに行く保護者が戸惑うなど、あまりメリットがないように思う。

【竹内会長】

このあと協議する活動メニュー設定の有無によっても変わるかもしれないが、開設場所の設定については、高橋委員から話のあった、冬場の寒さも考慮しながら2〜3か所を回るということにする。

また、昨年度の反省から、縄文資料館は見守りの難易度が高いという意見も出ていたため、中郷コミュニティプラザ、中郷総合体育館を中心に開設していくということで、まちづくり振興会へ提案する。

次に、活動メニューの設定について、前回の地域協議会では、活動メニューを設定すると子どもたちが楽しめる、中学生が企画するのもよいのではないかなという意見が出た。活動メニューの設定について、意見はないか。

【尾崎委員】

小学校の校長先生からの自主的な活動を望む意見もあったということで、プログラムとしては設定せずに、小学生からのアンケート結果に出てきた、折り紙や読書用の本を準備しておいて、子どもたちが望むときに提案できるように、持ち運びできればよいと思う。

【陸川副会長】

何か企画するのであれば、中学生主体で進めた方がよい。運営主体のまちづくり振興会の負担が大きくなりすぎない範囲で実施できるとよいと思う。

【竹内委員】

体育館で遊ぶ際の企画について、やろうと思えば手軽にできるものもある。基本的なルールや道具の使い方だけ教えて、子どもたちがアレンジするなど、ある程度、自主性を尊重した形で行うことも一つの方法だと思う。基本的には子どもたちの自主性と自由さを重視し、子どもたちのやりたいことを聞きながら用意するのもよいと思う。

【竹内会長】

尾崎委員や竹内委員から話があったように、あえて「〇〇をやります」とアピールはせず、ある程度子どもたちが自由に過ごしながら、何か手軽にできるようなものも考えておくというように進めるのはどうか。

見守り者からの意見や要望は聞いているか。

【岡田委員】

日によって異なるが、スタッフが少ないとそれだけ負担が大きくなり、片貝縄文資料館では、室内と室外どちらも見守りが必要になり、大変だった。自主性は大切にしつつも、ある程度、遊ぶ場所を限定するなどのルールがないと見守りが大変だという意見はあった。

【竹内会長】

見守り者の負担が大きくならないようにするとともに、子どもたちが参加しやすいような体制を作っていくということで、まちづくり振興会へ提案しようと思う。

また、中学生の募集について、中学生もなかなか忙しい状況がある。これから、夏休みに入り「こ食」の事業が始まるが、おそらく中学生の参加はほとんどないと思う。中学生のボランティア参加を促す準備を進めている。中学生の職場体験も体験先が分散されており、今の中学生の流れが分かりづらくなっている。い～場所開設事業においても、中学生の参加を促せるような方法が必要だと思っている。まちづくり振興会で作成するチラシに「中学生ボランティア募集中」の文言を入れてもらいたいと考えている。

「こ食」の事業では、毎回活動メニューを設定している。今年度は、妙高市のeスポーツクラブがバーチャルボーイを、NPO 法人のタイルピースがタイルアートなどを実施する予定。自分たちだけで実施しようとするすると運営が難しくなるが、外部団体を呼び、活動を行うことも子どもたちの魅力を引くのかと思う。

い～場所開設事業の開設場所、活動メニューの設定、中学生の募集方法については、事務局と整理して、まちづくり振興会へ提案させていただく。

昨年事業に参加していなかった保護者の話を聞くというのは、難しいという意見もあるが、7月15日（火）に実施の学年懇談会の際に、保護者と話ができればよいのではないかと思った。

個人的には、8月28日（木）に募集チラシを配布するのは、少し遅いのではないかと考える。夏休み前にチラシを配布し、それを踏まえて、学年懇談会で保護者と話ができるとよいと思ったが、スケジュール的に難しいか。

【桐山班長】

学年懇談会では、5分ほど時間を頂戴しているので、事業説明のみになる予定。学年懇談会にて、保護者へ簡単な質問等はできるかと思うので、聞いた方がよい項目があれば指示していただきたい。

【竹内会長】

改めて保護者に集ってもらい、い～場所開設事業について意見を伺うことは難しいと思う。8月には、なかごう夏まつりや「こ食」事業などで保護者と顔を合わせる機会もあるので、その際に話を聞ければよいと思う。

い～場所開設事業については、皆さんから出た意見をまとめ、地域協議会の意見として、まちづくり振興会へ提案しようと思う。

【桐山班長】

事務局から、6月17日（火）に実施した小学校への事業説明の際に、校長先生・教頭先生と意見交換した内容を共有させていただく。

先ほど会長から、8月28日（木）のチラシ配布では遅いのではないかという意見があったが、小学校からは、1学期中にチラシを配布すると間が空いてしまうので、2学期開始時が望ましいというアドバイスをいただいている。

また、「昨年度の実施結果で、小学生の2割が参加したことはとても多い印象」、「参加者の増加を目指すのではなく、居場所を必要とする子どもたちが利用できることが大切」、「事業を継続することが大切であり、運営側に過度な負担がかからないように」、「中郷区は先進的な取り組みをしている」との意見をいただいた。

その他に、学校区が狭い場合は、放課後に子どもたちが徒歩や自転車で集まることができるため、子どもの居場所について気にしなくてもよいが、学校区が広い場合、子どもの居場所が問題となる。前任校では、他者との関わりを持たせるために習い事を居場所として設定しているとの話があった。保護者に、子どもの居場所について意識してもらうことは難しいと思うが、中郷区では昨年度、保護者へ向けて事業説明を行っているため、子どもの居場所について考える機会があり、普段から想像できているということが素晴らしいという意見をいただいた。

【竹内会長】

いただいた意見を反映しながら事業を進めることができるとよい。小学校からの意見にもあったように、参加者数を増やすことが目的ではないので、関係機関と協力しながら事業を進め、このあと桐山委員から提案がある、定住促進に繋がるような事業プランを考えていけるとよいので、引き続きご協力いただきたい。

続いて、協議事項の（2）新たな自主的審議事項についてに移る。事務局に資料 No. 3 及び No. 4 の説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 3 及び No. 4 の説明の前に、前回の地域協議会にて、旧岡沢小学校の利用と空き家に関する意見が出たため、現状について説明させていただく。

【平原班長】

旧岡沢小学校は、上越市の民俗資料を収蔵する施設として活用している。国の有形文化財「どぶね」の他、約 3 万点の民俗資料を収蔵している。毎年、5 月の連休と 8 月のお盆に一般公開を行なっている。今年は 5 月 3 日（土）と 4 日（日）に公開し、56 名の来場があった。8 月 9 日（土）に、今年 2 回目の一般公開を予定している。去年の一般公開では、93 名の来場があった。

収蔵庫として活用しているため、貸館は行っていないが、グラウンドについては、町内会・老人会・子ども会の行事でのみ、使用可能としている。災害等の緊急時は、体育館を避難所として開放することになっている。グラウンドの草刈りと冬囲い、鍵の管理、出入口の簡易な除雪等の施設維持管理は、岡沢町内会へ委託している状態。

【近藤班長】

「資料 中郷区における空き家の状況及び市の取り組みについて」を基に説明。

空き家の件数については、年に 3 回見直しを行っており、そのうちの 1 回は町内会長からの報告を受けている。件数が減っているのは、空き家の解体が行われたため。

令和 5 年度から、さとまる学校へ空き家相談窓口の設置事業を委託しており、今年度から月に 1 度、さとまる学校と総合事務所で面談し、情報共有を行っている。

【竹内会長】

旧岡沢小学校の利活用については、住民からも意見が出てきていると思うので、検討を続けていきたいと思う。

空き家について、通学路沿いに危険空き家が増えてきている。現在、市とさとまる学校でパトロールや空き家の持ち主への連絡を行っている。持ち主の自己責任で解体までしてもらうことが原則になるので、市から持ち主へ連絡を入れても

らっている。ただし、何かあってからでは遅いので、地域協議会としても課題意識を持つ必要がある。

空き家相談窓口の設置事業では、さとまる学校の事務局が空き家相談士、私が1級空き家管理士として、全国の空き家に関する活動状況を把握しながら実施している。全国的にも空き家問題が増えてきており、国等の施策も必要になってくるのではないかと感じている。今後も情報共有しながら、空き家問題についても検討していければよいと思う。

【高橋委員】

坂本町内会の踏切近くの空き家について、強風等で空き家の一部が飛んでいき、県道や架線に被害を与えてしまった場合の責任問題を危惧しているので、総合事務所で調査してもらいたい。

先日、風の強い日に、近所の倒壊している空き家の一部が、耕作をしていない田んぼに飛んでいったということがあった。

市で空き家を壊せない法的な問題はあると思うが、何か被害を与えた場合の対応について、念のため調査してほしい。

【竹内会長】

風が強い日等は、総合事務所にパトロールを実施してもらっている。総合事務所も1分1秒目を離さずにいることは難しいので、何か気づいた点があれば、情報提供をできればよいと思う。あくまでも責任は持ち主にあるので、市と協力しながらできることをやっていければよい。

次に、資料 No. 3 及び No. 4 について事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 3 及び No. 4 を基に説明。

前回の地域協議会で、新たな自主的審議事項について委員の皆さんから出た意見をまとめたもの。

【竹内会長】

地域協議会委員改選後すぐに、桐山委員から、「い～住プロジェクト」について提案があった。今回改めて桐山委員から説明いただき、本日、新たな自主的審議事項についてのテーマ設定をしたい。

【桐山委員】

「資料 い～住プロジェクト（移住定住推進 P）」を基に、パソコンとプロジェクターを使って説明。

藤沢にある民泊施設 Oranchi のホームページが見やすかったなので、ここで紹介する。民間企業が作成した動画が、我々の活動とリンクしていないところで、中

郷区の PR となっている。地域協議会としても、情報発信等できることがあるのではないかと考えている。また、Debut!という商工会が運営している求人サイトがある。中郷区内の企業等の情報もまとめていければ、働く場所の情報を発信できると思う。

【竹内会長】

桐山委員から説明のあった、「い〜住プロジェクト」について、前回の地域協議会で皆さんからいただいた意見とつながっている部分がある。移住であれば、空き家問題・危険家屋解消・情報の発信・旧岡沢小学校の活用、定住であれば、居場所づくり・自然災害への備え、その他に農業の担い手不足・地域活動運営の人材育成・小中学校の存続など、的を絞った議論を進めていきたいと考えている。桐山委員から提案のあった、「い〜住プロジェクト」を新たな自主的審議事項としてテーマ設定しようと思う。

今後は、移住と定住の 2 つに班分けをして検討し、今できることを地域独自の予算事業として提案していくという流れを想定している。

【陸川副会長】

「い〜住プロジェクト」を新たな自主的審議事項としてテーマ設定することに賛成する。今、Oranchi のホームページを見て、とても分かりやすくまとまっていると感じた。

【竹内会長】

それぞれの得意分野があると思うので、何ができるか次回の地域協議会までに考えていただき、提案いただければと思う。

【桐山班長】

「い〜住プロジェクト」について協議する中で、令和 8 年度の地域独自の予算事業として提案する場合は、8 月末を目途に概要だけでもまとめていただきたい。

【竹内会長】

空き家の関係で情報提供させていただく。北国街道沿いに民泊とサロンをつくるために空き家を探している方がいる。移住定住に繋がる部分もあると思うので、積極的に空き家探しをしている方の情報も知っておいてほしい。

続いて、資料 No. 5 地域協議会委員 4 区合同研修会について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 5 を基に説明。

出欠を取りまとめ、参加者が確定した。参加者が見込みよりも多かったため、研修会の会場をは一とぴあ中郷のホールで行うこととし、情報交換会をは一とぴ

あ中郷の研修室に変更した。研修会をホールで行うと、客席でのグループ討議が難しくなるため、グループ討議の際は、レッスン室や楽屋を使用する予定。

【竹内会長】

4 区合同研修会は、7 月 11 日（金）に予定どおり開催する。参加者が想像以上に多く、妙高サンシャインホテルで情報交換会を開催できなくなった。

進行については、会長・副会長・事務局で検討を行う。皆さんからは、当日の午後 1 時 30 分に集合していただき、会場設営を手伝っていただきたい。また、会場までは、各自で集合いただくようお願いしたい。

地域政策課から地域自治推進プロジェクトの説明を受け、他の区の状況も聞きながら意見交換を行う場にしたいと思う。

4 区合同研修会について、質問・意見はあるか。

【陸川副会長】

4 区合同研修会で「地域活性化の方向性」について発表する予定だが、内容としては、3 月に行った活動報告会をもとに作成して問題ないか。また、本日の地域協議会で新たな自主的審議事項のテーマとなった、「い〜住プロジェクト」について触れてよいのか。

【桐山班長】

「い〜住プロジェクト」についても内容に含めてもらってよいと考える。

【竹内会長】

活動報告会での内容から次のステップに進んでいる状態。また、事務局の方で資料をまとめるので、ぜひ、「い〜住プロジェクト」も内容に含めてほしい。

その他委員、事務局から発言はないか。（なし）

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-74-2411（内線 165） E-mail：nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。